

川崎南法人会

## 台灣4日間研修旅行記



有限会社廣ホーム 岸本廣子

## H25年10月13日(日) 快晴

A.M8：40、羽田空港国際線ターミナルに男性8名、女性24名、JTBの美人添乗員の木村さん、急遽研修のために行かれなかった、いつもの馬場さんの34名が集合し、白地に色とりどりのキティちゃんの絵が描かれたエバー航空(BR) 189便に乗り込み、いざ台北へ出発。

約2時間のフライト(時差1時間)で現地到着13：30(現地時間)、空港で迎えてくださったのが、現地ガイド馬(マア)さん、日本(関西)で4年勉強しただけあって日本語達者、ユーモア満載、知識も豊かな独身47歳、黒のスーツに白系のワイシャツをシャキと着た、身長は英才軍隊(175cm～180cm)に少しだけなかったと言う楽しいおじ様に案内されて、まず第1番目の観光地へ。

## 中正記念堂(蒋介石×モリアルホール)



中正記念堂

76m(約20階)の高さの円形に瓦葺屋根の建物に圧倒される。1階までの階段89段を登ると中正記念が書かれた模様の板が全面にはめこまれた天井を見上げて、また、圧倒される。蒋介石が乗ったキャデラック、服、銃、書斎(ここに掛けられた時計は彼が亡くなった時刻PM11：50分で止まっている)などが展示され、いかに偉大な指導者であったか偲ばれる。



「蒋介石」石像

4階までエレベーターで昇ると210tもある蒋介石の大きな石像が座っている。ちょうど衛兵交代の時間で白服海軍一糸みだれぬ交代式を見ることが出来た。

## 第2番目の観光スポットへ

台北101ビルの89階の展望台91階の屋外展望台から夕陽の落ちる台北市のパノラマを見る。5階から89階まで37秒という世界最速エレベーターは東芝製、またビルに揺れないのは建物の中心に660tもある大きな金色の銅板を重ねた玉(ダンバーソーン)がロープで吊るされており、これで建物のバランスをとっている。

## 10月14日(月)

今日は第3番目の観光、「平渓線と九份・十分」。列車の線路上からの「天燈上げ体験」(熱気球のような提灯上げ)三国志の時代からの情報伝達システムがやがて願い事を天に上げるようになったそうだ。1m四方が4面あり



台北101ビル

赤や黄で出来た布に筆と墨で書いて飛ばす体験をする。

経営者の参加とあって、商売繁盛が一番多かった気がする。その後、列車に乗って日本人が造ったローカル鉄道を15分ぐらい乗り九份へ、昔は「金」を採掘した山でしたが、今は石畳の狭い道の左右に食べ物屋、みやげ屋がひ



九份の「天燈上げ体験」



阿味茶樓

しめきあい、色々な匂いが立ち上り、時には耐えられぬ悪臭がする。

「千と千尋の神隠し」の湯婆婆の屋敷のモデルになった阿味茶楼でお茶をして隣の台湾料理屋で海を見ながら昼食をとる。夜は士林夜市へ、若い人がいっぱい集まっている日本の祭りの夜店と似ている。

## 10月15日(火)

今日は、花蓮・タロコ渓谷観光へ、台北駅から特急列車（日本で走っていた白かもめ）で2時間半、花蓮駅に着く。花蓮駅からバスでタロコ渓谷へ。雄大な大理石の山、延々と広がる川、この地の大理石はまだ1000年の採掘量があるという。大きな岩は一枚物で高さ330mほどあるという。

ここの人囗28万人の内7割が原住民でその95%がアミ族と言われている。渓谷から約4時間山に登った所に集落（水道も電気も無い）がある。村から下りてきた美人のガイドさんが土地の歌と日本語の歌を唄ってくれた。台北への帰りは、国内航空の小さなプロペラ飛行機に乗る。（雲海の上を飛ぶ）落ちないでほしいと祈る。



タロコ渓谷

## 10月16日(水)

旅行最終日、日本は昨晩から関東直撃の台風、会社は大丈夫かしら、我々は帰れるかしらと52チャンネルのNHKを見ながら心配する。今日は待望の故宮博物館見学、さすが中国の宝物はすばらしい。彫り物、焼き物など中国故宮から98.3%、約69万点蒋介石が持って来ており、現在480点展示され交代しながら展示されている。

日本からの中学・高校の修学旅行生に会う。その後台湾の靖国神社と言われる忠烈祠へ、グレーの服の陸軍衛兵交代式を見学にいく。身長175cm～180cmのスタイル、顔の見栄えのよい人たちが選ばれ衛兵になるそうです。



故宮博物館



忠烈祠

さて、最後の昼食後、空港へ。関東を直撃した台風も午後から北上し、日本から発った飛行機が着いて一人の怪我も事故もなく無事帰国の途に着く。

楽しかった台湾、お世話になったガイドの馬さん、JTBの木村さん、なにかと裏で気をつかってくださった局長さん、又、役員の方々、参加者のお一人、お一人に心から感謝の旅行でした。



7つの  
間違い探し

\*右の絵と左の絵には相違点が  
7か所あります。見つかります  
かな？（答えは10頁にあります）

### [作者紹介]

神谷一郎（かみや・いちろう） イラストレーター、デジタルイメージ会員、日本出版美術家連盟会員など。専修大法学部卒後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・WEB等で活躍中。第35回集英社YJ新人賞、第51回講談社漫画賞などを受賞。第4回デジタルアートコンテスト佳作。著作に「マニアックサイバー」（グラフィック社刊）。